

副会長 基本方針



会員交流委員会 副会長 小林 薪吾

我々が愛する和歌山は自然の恵みが豊富な環境にあり、広範囲での世界遺産登録もされた地でもあります。全国的な人口減少に伴い各地会員会議所の会員数が減少する中、自分たちの住む地域の可能性を改めて見直し、先人たちより受け継がれてきた素晴らしい魅力を取り入れ、地域資源の情報発信に向け効果的な手法を確立し、我々の想いを市民の皆様とともに地域発展につなげ、夢や希望を持った和歌山を実現していかなくてはなりません。

まずは、産業競争力の新たな強化と地域経済を活性するために、各地域に伝わる資源や文化を改めて見直し、効果的な運動につなげるために我々の組織を活用し、未来を夢見て輝く人材、地域資源を調査します。そして、多くの市民の方々とネットワークが構築し、まちづくりへの想いを共有できる場を創り出すことで、産業の競争が地域発展に最大限活かされ、さらなる地域資源を生み出すことによって、可能性が溢れた地域資源や文化の発掘につながります。さらに、地域の価値観や文化から生み出された新たな未来への可能性を我々の組織を活用し、和歌山の地域資源を全国に発信していくことができます。また、志を高く持つ各地会員会議所の仲間との交流を目的とする場を企画することで、各地会員会議所の一年間様々な事業を成功させてきた価値観を共有することができます。そして、和歌山の地域資源を発信し、魅力あるものが身近にあることに気づくことで、今後の青年会議所運動に結びつく機会となります。さらに、事業だけに捉われず有意義な時間と経験を地域、各地会員会議所に持ち帰ることで事業に必ず活かすことができると確信します。

結果、挑戦し続けることで学び得た経験から地域の意識が高まり、我々の魅力ある想いが周りの方々に発信することが可能となり、喜びに満ちた社会に夢や希望を与え、市民の方々に信頼される組織として地域の礎となり活気に満ち溢れた力強い和歌山を創造します。

[事業計画]

1. 和歌山ブロック大会の開催（大懇親会）
2. 全国大会宮崎大会におけるブース出展
3. 総括事業の開催（懇親会）
4. 卒業式の開催
5. 総務褒賞委員会との連携による広報戦略
6. 会員拡大支援の協力